

おぐま通信



広島県議会議員
尾熊良一

●おぐま良一 HPアドレス

<http://www.komei.or.jp/km/hiroshima-oguma> E-mail : oguma@polka.ocn.ne.jp

発行 公明党広島県議会議員団
〒730-8509 広島市中区基町10-52
連絡先 おぐま良一事務所
〒721-0975 福山市西深津町4丁目7-5
TEL: 084-983-1862 FAX: 084-983-1863

県政に皆さまの声を届けます。
ご意見・御要望をお待ちしております。

No.8

2015.7 夏号

農林水産、観光事業発展に尽力



農林水産委員会で議案審査(7月1日)

4月の広島県議会議員選挙で2回目の当選を果たすことができました。また、日頃から尾熊良一の政治活動に対し、暖かいご声援とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

人口減少・少子高齢化社会の厳しい社会状況の中で、新たな経済成長と安心な暮らしを守り魅力ある広島県を目指す地方創生に向け、この4年間全力で取り組んでまいります。



6月本会議最終日に本会議場にて農林水産委員会の委員長報告を行う(7月3日)

5月臨時議会で私は、常任委員会である農林水産委員会の委員長の選任を受け、また6月定例議会では、広域・国際観光振興対策特別委員会の副委員長の選任を受けました。

広島県の農林水産業の発展と海外からの観光客の積極的な誘客による観光事業の発展に頑張っまいります。

公明党議員団の新体制が決まりました

4月の選挙で公明党広島県議会議員団は新人議員2名、現職4名の新体制となりました。

議員名	期	選挙区	会派役職	常任委員会	特別委員会
栗原俊二	4	広島市安佐南区	団長	建設委員会	安心な環境づくり対策
田川寿一	4	広島市西区		文教委員会	産業基盤強化対策
日下美香	4	広島市中区	幹事長	生活福祉保健委員会	少子化・人材育成対策
尾熊良一	2	福山市	政調会長	農林水産委員会	広域国際観光振興対策
下西幸雄	1	呉市		総務委員会	地域魅力創造対策
石津正啓	1	福山市		警察・商工労働委員会	地方創生・行財政対策



新体制の公明党広島県議団(本会議場にて)左から栗原・日下・田川・尾熊・下西・石津議員

また、6月から栗原団長、日下幹事長、尾熊政調会長の新たな会派執行部体制となりました。栗原団長を中心に、6人しっかり団結し、県民の皆様や県政発展のために、政策の提案と実現に全力で頑張っまいります。

6月定例県議会報告(6月24日~7月3日開催)

●公明党主導で提案した被爆70年の節目に合せ、広島県議会の決意表明となる「核兵器の廃絶と恒久平和を求める決議案」が全会一致で可決されました。



●三重県の伊勢志摩で開かれる主要国首脳会議(サミット)に合わせ、参加国指導者の広島への訪問の機会をつくるよう国に強く要望する「世界の指導者による被爆地訪問の実現を求める意見書」も公明党から提案し、全会一致で可決致しました。

●「災害に強いまちづくり」で県民の防災意識醸成を図る取組事業費や、「地方創生」で新たな「経済成長」、「人づくり」、「安心な暮らしづくり」、「豊かな地域づくり」などの取組事業費など合計14億5500万円の2015年度一般会計補正予算案など23議案が可決しました。

サミット時の外相会合を広島市で開催決定

2016年主要国首脳会議(サミット)に「世界の指導者に被爆地訪問の実現」を要望

来年の主要国首脳会議(サミット)は、三重県志摩市で開催される事が決定しましたが、公明党議員団は6月9日湯崎英彦広島県知事宛に、6月12日岸

田外務文雄大臣宛に、被爆70年の意義ある本年に、核兵器廃絶へ強い願いを含めた3項目の要望活動を行いました。その結果、6月26日政府はサミット

時に外相会合を広島市で開催することを正式に決定しました。

<要望の内容>

- ①「核兵器の非人道性に関する国際会議」を広島で開催すること。
- ②プラハ演説を行ったオバマ米大統領はじめ参加国指導者の被爆地広島への訪問の機会をつくること。
- ③主要国首脳会議の関係閣僚会議を広島で開催すること。



知事に要望書を提出(6月9日)



外務省岸田外務大臣に要望書を提出(6月12日)

太田昭宏国交大臣宛に「災害に強いまちづくりの推進」を要望

国土交通省で要望活動(6月12日)



広島市で発生した豪雨による甚大な土砂災害からまもなく1年。公明党県議団は、災害に強いまちづくりの推進について要望活動を行いました。

- ①8.20豪雨災害の早期復旧・復興支援
- ②広島県内の土砂災害警戒区域指定の加速化支援



- ③インフラ老朽化対策の取組強化に対する支援
 - ④危険な空家などの撤去促進に関わる財政支援
- 他、新たな経済成長を支える物流基盤の充実強化や観光客の誘致支援など8項目で国の支援を要望しました。

災害時の難病患者を支援 適切な対応へ手帳を作成(5月19日)

広島県は難病患者らが地震や土砂災害時などで避難したときに備え、必要な支援を周囲に的確に伝えるための「災害時支援手帳」を作成。

作成を推進した公明党県議団に県庁内で広島難病団体連絡協議会の後藤淳子会長より手帳の完成の喜びの報告がありました。

県は手帳を2万部作成し、難病団体や各市町より配布されます。



地域の防災学習会で講師を担当(5月20日)



福山市西深津学区自主防災組織主催の会合で防災学習会の講師を担当しました。

多くの方が参加され、「災害から命を守るための行動」や「普段から災害



に備えるための行動」について自分達の住む地域で、どのような災害が予想されるかを土砂災害ハザードマップや洪水ハザードマップを使用し地域の皆様と一緒に防災学習を行いました。

広島県プレミアム商品券発行—申込受付開始

公明党が国と地方で強く推進し実現した地方の消費喚起を目的にしたプレミアム商品券は、広島県では、全国初の電子マネー方式による25%のプレミアム付き商品券「HIROCA」が、広島銀行で6月26日から9月30日まで申込受けが始まりました。

